

令和3年度自治体等FM連絡会議福島県地域会の開催報告

福島県地域会

代表幹事 福島県総務部財産管理課

1 地域会講演について

令和3年10月15日（金）Web会議システム「Zoom」を活用し、リモート会議において講演会を開催し、福島県内の19の自治体から33名の方に参加いただきました。

講演会では、有識者と先進自治体職員による講演の後、リモート会議に参加した自治体職員からの質疑応答を行い、公民連携についてより一層の理解を深めました。

(1) 第1部【演題】「初心に帰って考える公共施設マネジメント、原点から見えてくる公民連携の可能性」

【講師】東京都立大学 都市環境学部 建築学科 助教 讃岐 亮 氏

讃岐様の講演では、今おかれている自治体の公共施設をとりまく現状を踏まえ、これから一斉に更新時期を迎える公共施設を財政的に持続可能とするための手段についてコスト縮減や財政の効率化の視点からご講演いただきました。

従来の施設管理は、現在使われている施設の長寿命化など「現状維持」を主体としていますが、これからは将来その地域の人、場所がどのように発展していくか明確な「ビジョン」を持ちつつ、活用できる資産がないか当てはめていく考えが大切だと学びました。

また、民間事業者との連携について、他自治体の先進事例を紹介しながら、自治体は公共サービスの維持向上、民間事業は価値の創造と相互の目標を持ちながら民間事業者との真の協働こそが重要だにご教示いただきました。

(2) 第2部【演題】「小田原市の公共施設マネジメントにおける公民連携の取組 公民連携は庁内連携から」

【講師】神奈川県小田原市 企画部 公共施設マネジメント課

主査 細谷 夢津美 氏

細谷様の講演では、小田原市の公共施設マネジメントにおける公民連携の取組事例や業務の中で苦労された点などを交えてご講演いただきました。

小田原市では、関係各課との積極的な意見交換を目的とした庁内検討会を設け、現場職員の気づきや提案を実現につなげる相談の場づくりをすることで、まずは庁内連携を図り、公民連携推進の仕組みをつくられている体制が重要だと学びました。

また、庁内職員や市民の方々の意見、民間業者との連携を進めていく中で、考え方の相違など様々な課題も生じる反面、行政の立場では気付かなかった公共施設の魅力や活かし方を民間の方から教えてもらえることに学ぶこと、得ることが多かったにご教示いただきました。

(3) 質疑応答

- ・小田原市の審査員構成に関する質疑で庁内調整の困難さなど様々な課題や苦労があるのご教示いただき、今後の業務に繋がる内容でとても参考になりました。
- ・讃岐様が全国の自治体と交流を持った中で先進自治体の特徴について、最近では、庁内でディスカッションを設けている自治体の方が進んでいるのご教示いただき、今後、本格的にFMに取り組もうとする県内の自治体の職員にとって、大きな励みと教訓になりました。



2 地域会審議について

令和4年度の活動計画及び幹事選任の議案について、各地域会員への書面開催により審議を行いました。両議案共に承認され、令和4年度の幹事には、白河市が選任されました。

福島県地域会は、今後も福島県内の自治体等FM関係者との情報交換や交流の場を設け、会員相互の連携強化を図りながら、今まで以上に積極的な活動をしていきたいと考えています。

3 おわりに

ご講演いただいた東京都立大学の讃岐助教、小田原市役所の細谷主査、福島県地域会に参加された方々、一般財団法人建築保全センターの関係者の方々、令和3年度幹事のいわき市並びに関係者の方々に厚く御礼申し上げます。